

資料－8

(第6回紀の川流域委員会資料2より抜粋)

検討対象降雨の選定

洪水追跡計算モデルを用いて流量を計算するためには、時間雨量資料が必要となるため、時間雨量観測所が整備され始めた昭和28年以降を選定対象期間としました。

この期間において、年最大降雨のうち、船戸地点で大きな流量が観測され流量観測資料が整っている「主要7降雨」を選定した。また、貴志川流域で既往最大被害をもたらした昭和28年7月降雨を追加しました。これらの降雨は、船戸・橋本・高島地点の上流域平均2日雨量も大きな値となっています。

NO	洪水名	実測流量(m ³ /s)		流域平均2日雨量(mm)		
		橋本	船戸	橋本	船戸	高島
1	S28.9.24	6,110	7,800	327.2	306.0	292.4
2	S31.9.25	3,470	4,120	287.7	315.4	382.5
3	S33.8.24	3,100	3,830	371.1	265.6	127.3
4	S34.9.25	7,000	5,870	453.8	316.0	139.6
	S36.9.15	2,660	3,430	285.8	258.5	214.2
5	S36.10.26	3,810	3,980	395.5	301.5	190.5
	S37.7.26	740	1,960	403.9	284.2	183.1
6	S40.9.16	4,090	5,400	257.3	235.0	192.6
	S43.7.27	－	－	319.6	208.2	－
7	S47.9.15	4,100	5,780	215.0	189.5	155.5
8	S28.7.18	貴志川で最大被害		－	－	226.4